

タイトル	身体加工の役割と目的		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	原田 穂乃里

### ○研究背景

- ・現代人は人目を気にしすぎていると思う節が多々あり、人はいつから化粧をするようになったのか気になった
- ・化粧や整形をする根底にはどんな目的がある？

### ○研究目的

- ・いつからどんな目的で化粧をしてきたのか？
- ・現代の人々は化粧を含む身体加工をどんな目的とするのか？  
地域差はある？  
を知る！



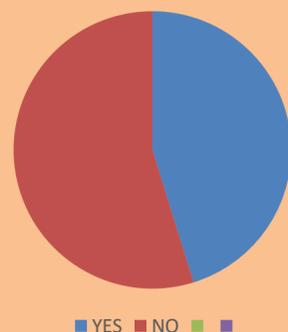
### ○調べたこと

- ・奈良～平安・・・眉加工、お歯黒、白粉、頬紅  
→身分の高い人限定・身分や立場を表すモノ
- ・江戸・・・控えめだが、化粧が嗜みやおしゃれとして認められ始める
- ・明治～現代・・・欧米化が進む。  
女性の楽しみやマナーとして化粧文化が花開く



<メイク頻度>

<整形したい？>



Q. 化粧をする目的は？ A. 「自分に自信が持てる」「明るい気持ちになる」「引き締まった気持ちになる」  
 Q. 整形をする目的は？ A. 「自己満足のため」 (ポーラ文化研究所化粧調査, 2019, 化粧への期待と行動, <https://www.cosmetic-culture.po-holdings.co.jp/report/pdf/191212kitai.pdf>)

整形に関しては比較的オープンな人が多いよ  
親やパートナーに勧められる人も多い！

美容大国  
in 韓国



自由の国  
in アメリカ



ステータス  
社会的地位が  
高い

### ○まとめ・今後の課題

- ・現代の特徴：文化に煽られる形で、自己表現のために身体を変える時代！！
- ・化粧や美容整形をする目的も、マイナスなものではなく「自己満足」「自分に自信が持てる・好きになれる」といったようなプラスなものに変化
- ・地域によって、化粧や整形に対する価値観や考え方は異なる
- ・今後はインタビュー・フィールドワークも取り入れ、考察を深めていきたい

### ○参考文献

「美容整形と化粧の社会学」, 谷本菜穂, 株式会社新曜社, 2008年7月11日  
 「顔の分化誌」, 村澤博人, 講談社, 2007年2月10日  
 「化粧ものがたり」, 高橋雅夫, 雄山閣, 2018年8月31日

